

単元名 つなぐんぐん(造形遊び)

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 材料の特徴を生かしながら、つないでできる形の感じを見付け、つなぎ方や組み合わせ方を工夫して表すことができる。  
(2) 枝や棒などをつないだり、組み合わせたりして、新しい形を思いつくとともに、どんどんつないでできる形のよさや面白さを感じ取ることができる。  
(3) 枝や棒などの材料を、どんどんつないでいく活動を楽しもうとする。

### 標準的な展開例

04080105\_001

【準備等】木の枝、木の枝を縛るロープ、新聞紙、セロハンテープ、のり、割り箸、モール、輪ゴムなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 グループに分かれ、場所を生かしながら材料をどんどんつないでどんなことができそうか考える。          ○教科書の写真を参考にして、どこで、どんなことができそうかを話し合う。          ★細い材料をつないで、面白い形をつくろう</p> <p>○素材をつなぎ合わせて試しながら、大きな形を作っていく。</p> <p>2 つなぎ方や組み合わせ方を試しながら、どんどんつないでつくり、つくりかえていく。          ○他のグループの作品を鑑賞する。</p> <p>○できた形を組み合わせたり、並べたりしながら、作品を完成させる。          ・作品の中から見ても面白そうだね。          ・こんなに大きく高くできるんだね。</p>	<p>・教科書3・4下 P. 24, 25</p> <p>・事前に、木の枝・新聞紙・割り箸などの素材を使うのかグループごとに決め、材料を集めておく。各学校の実態に応じてクラスで同じ素材を扱ってもよい。          ・グループで協力し、話し合いながら計画を立てるようにさせる。          【評】友達と協力して、主体的に計画する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。          ・活動の過程で教科書を見て、場所を意識した表現の具体例を示したり、児童の試しているつなぎかたや面白い組み合わせ方の工夫などを紹介したりして、活動がなかなか広がらない児童がイメージをもちやすいようにする。          【評】素材に合うつなぎ方を見付け、工夫してつなぎ合わせていく活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・交代では他のグループの活動を見て回り、それぞれの形や活動のよさや面白さにふれさせる。          【評】友達の作品を参考にして、よいところや面白いところを取り入れながら制作する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する</p> <p>・平面的にならないように、様々な方向から見ながら活動するように声かけをする。          【評】様々なつなぎ方や組み合わせ方を工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。          【評】作品やこれまでの学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】